

「Live118」を活用した海難情報の 早期かつ正確な入手

海上保安庁では、令和7年1月18日から、118番通報の情報伝達・収集手段の強化を図るため、Live118という新たな通報システムの運用を開始した。

Live118は、118番通報者と海上保安庁運用司令センターとの間で、通報者のスマートフォンで撮影した映像を、携帯電話の電気通信事業者の回線を利用し、送受信することを可能とするシステムであり、同システムの導入により、音声や文字による通報では把握が難しい現場の状況であっても、映像での通報を受けることで、海上保安庁運用司令センターにおいて正確な状況把握が可能となった。これにより、対応に必要な体制や資機材の判断をより迅速に行うことができるようになったほか、状況に応じて、通報者に対し急病・怪我人の処置に関する動画の提供を行うことができるようになった。



Live118デモンストレーション

Live118リーフレット